

2013年度 前期		リフレクションペーパー						
学科名	生物環境化学科、情報学科、経営ビジネス学科							
科目名	産業技術と倫理 Ethics of Industrial Engineers							
科目区分	人間形成科目	単位数	2単位	開講時期	1年次前期			
必修・選択の別	選択科目(バイオサイエンスコース) 選択科目(食品生物資源コース) 選択科目(エネルギー・環境コース)							
担当者	西田 治男 Haruo NISHIDA							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同体の一員であるということの認識と自己の行為の倫理性が共同体に与える影響を考えられる。 ・技術者の本質であるものづくりに倫理が強く結びついていることを認識できる。 ・企業倫理に根ざした新しい経営論理を把握できる。 ・知的財産や営業秘密の意味を理解し、それらの権利問題について解釈できる。 ・製造物責任や環境影響について理解し、技術者の考え方の中に社会や環境への配慮が必要であることを認識できる。 							
日程と内容	4/28 第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、産業技術と倫理とは何か 4/28 第2回：倫理とは何か 共同体に成立する倫理体系の理解 4/28 第3回：技術者にとっての倫理 ものづくりの倫理の理解 4/28 第4回：技術者とは何か 歴史の中の技術者 専門職としての技術者 4/28 第5回：技術者倫理と企業倫理 経営の倫理と企業・技術者の倫理的責任の理解 6/9 第6回：内部告発の倫理 内部告発を巡る社会と企業の変化の理解 6/9 第7回：製造物責任法(PL法)を理解する 6/9 第8回：安全性とリスク リスクコミュニケーションの理解 6/9 第9回：知的財産と営業秘密 特許法の概要と職務発明、守秘義務の理解 6/9 第10回：環境・資源の倫理1 環境問題と産業技術についての概要 6/23 第11回：環境・資源の倫理2 循環型社会の構築の理解 6/23 第12回：研究の倫理 発見と発明、先取権の尊重原則などの理解 6/23 第13回：国際化と異文化摩擦についての理解 6/23 第14回：科学技術と公共性についての理解 6/23 第15回：技術者倫理に関する最近のトピックスと総合討論							
成績評価基準	定期試験	80%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	20%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	概ね達成された。							
反省点	1日5コマの集中講義のため、学生の集中力を維持させることが難しく、結果として授業アンケートにもあるように、学生が寝てしまうという状態が多々あった。 100名を超える学生に5コマ連続での集中を継続させる方法論に行き届かない点があったと思う。							
来年度の計画	授業アンケートのコメントの内容から、集中講義で実施するには若干限界があるように思う。 次年度からは講義の時間割調整から考える必要がある。							
授業評価アンケートに対するコメント	前回同様に、問8. 教員は授業の準備を十分にしていたか。以外は、すべて平均点以下となった。 集中講義そのものへの戸惑いも原因の一つであると思うが、コメントにもあったように、授業の中での学生とのコミュニケーション／意見交換をより多く取り入れることが、改善の一つの糸口になるかもしれない。							
履修登録者数	113名	定期試験 受験者数	84名	合格者数	70名	合格率	83%	